

道路空間を活用した EV路上カーシェアリング社会実験 第5回協議会

社会実験内容

令和7年12月

近畿地方整備局 大阪国道事務所

1. 社会実験の背景

- 社会実験において、EV路上カーシェアリング社会実験により社会受容性等を把握し、今後の水平展開により、環境負荷軽減を目指す。

【社会実験目標】：路上におけるEVカーシェアリングの社会受容性やカーボンニュートラル、交通利便性向上の有効性把握

■社会実験での取組概要

- ・民間事業者を公募し、EV車でのカーシェアリングを実施



▲路上カーシェアリングステーションの整備事例（東京都港区新橋）

×



▲EV充電機器の整備事例（横浜市青葉区）

- ・2050年カーボンニュートラルの実現を目指した「道路におけるカーボンニュートラル推進戦略」にあった取組を推進

①道路交通の適正化

②低炭素な人流・物流の転換

⇒新たなモビリティ・公共交通等、低炭素な交通手段の利用促進

③道路交通のグリーン化

⇒次世代自動車の普及
⇒道路空間における発電・送電・給電・蓄電の取組

④道路のライフサイクル全体の低炭素化

▲道路分野のカーボンニュートラル推進戦略の4つの柱

（出典）道路におけるカーボンニュートラル推進戦略 中間とりまとめ（国土交通省 R5.9）

■検証イメージ

- ・EV路上カーシェアリングの社会受容性：カーシェアリング利用者数、歩行者や自動車交通への影響評価 等
- ・カーボンニュートラル、交通利便性向上の有効性：今後の利用意向、他交通モードでのアクセス性評価 等

社会実験の狙い

- ・路上でのEVカーシェアリング導入による環境負荷軽減（カーボンニュートラル）
- ・交通利便性向上の強化 ⇒ 利用者が交通を選択しやすい環境構築

京阪神都市圏での水平展開を目指す

2. 社会実験の目的・概要

目的

道路分野におけるカーボンニュートラルの取組みとして、JR大阪駅など鉄道駅周辺の国道1、2号の路上にEVカーシェアリングステーションを設置し、鉄道とEVカーシェアリングの組み合わせによるCO2排出の削減や、交通利便性向上、災害時の有効活用等の検証を行う。

実験概要

○実験期間: 令和6年10月1日(火)10時～令和7年12月末(予定)
※実験期間は、延長する場合がある。

○実験箇所: 大阪府大阪市北区梅田・東天満・福島区福島
国道1、2号の道路上5箇所

○運営車両: 日産サクラ(EV車)

○運営方式: ラウンドトリップ方式※¹

○運営時間: 0:00～24:00(24時間)

○実験主体: 道路空間を活用したEV路上カーシェアリング
社会実験協議会

国土交通省、大阪府警察本部、大阪市、実験参加者、
梅田2丁目振興町会、西阪神桜橋商店会、
福島連合町会、東天満1・2丁目振興町会

○実験参加者: タイムズモビリティ株式会社

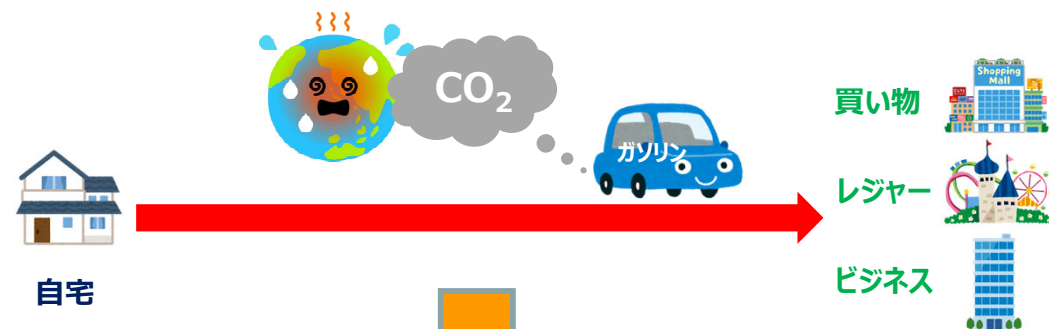
○カーシェアリング利用方法: タイムズモビリティ株式会社が運用する
「タイムズカー※²」にて予約し、利用。

※¹車を借りた場所と返す場所が同じ方式

※²利用にあたっては、タイムズカーの会員登録が必要になります。 <https://share.timescar.jp/>

レール×EV路上カーシェアリング

従来



CO2排出量の削減

EV路上カーシェアリング

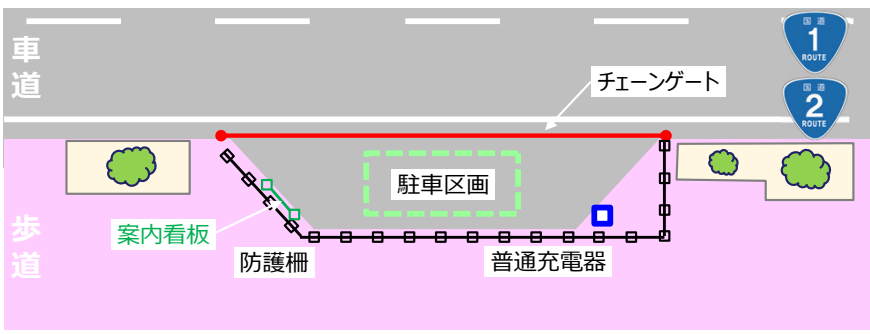


3. 社会実験 実験箇所

位置図

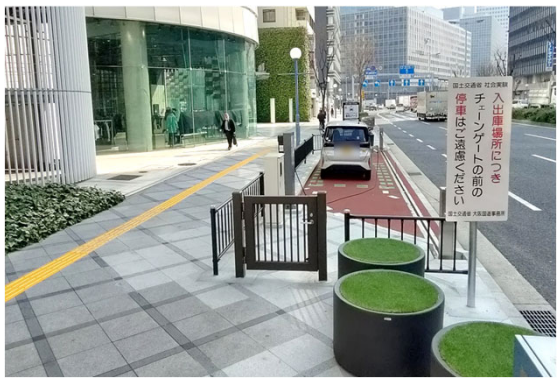


配置イメージ



現況写真(R7.3.26時点)

箇所①



箇所③



箇所⑤



箇所②



箇所④



社会実験案内看板



4. EV路上カーシェアリング利用方法 概要

利用手順

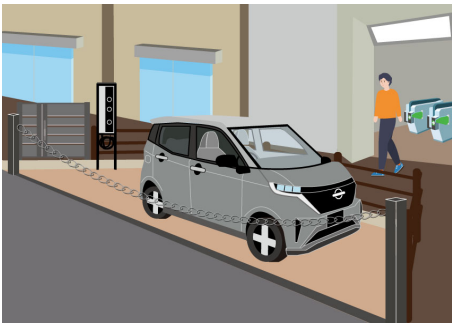
①利用予約



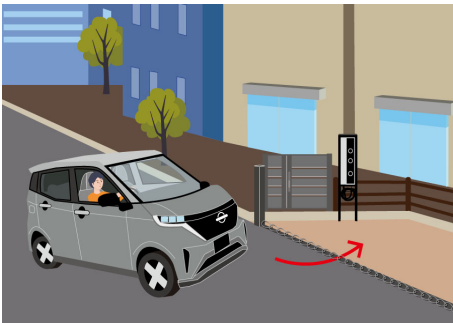
④目的地到着



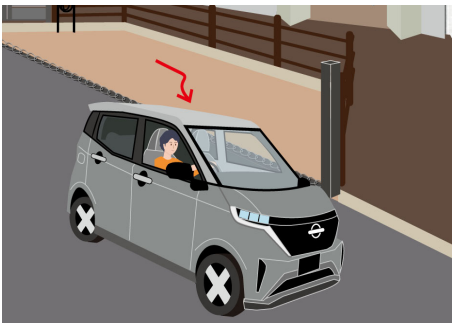
②駅近くで乗換



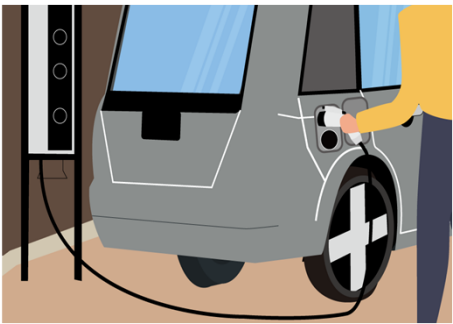
⑤カーステーション帰着



③カーシェアで移動



⑥充電・返却



EV路上カーシェアリングを活用した移動イメージ



5. 実験期間中の運用変更点

- タイムズカーのEV充電のための予約不可時間が短縮された。(令和7年8月26日～)
- タイムズカーの料金改定に伴い、社会実験でのカーシェア利用料金も変更となった。(令和7年12月1日～)

EV充電時間の変更内容

○最大充電時間を4時間から2.5時間に変更。

変更前

- ・利用が8時間以下 → 充電時間: 利用時間の半分
- ・利用が8時間超 → 充電時間: 4時間

変更後

- ・利用が5時間以下 → 充電時間: 利用時間の半分
- ・利用が5時間超 → 充電時間: 2.5時間

○「タイムズカー」予約画面上での利用不可時間の表示

利用料金の主な変更内容

○時間料金と距離料金の合算に変更。

変更前

- ・6時間以下: 時間料金のみ
- ・6時間超: 時間料金 + 距離料金

変更後

- ・6時間以下: 時間料金 + 距離料金
- ・6時間超: 時間料金 + 距離料金

※一利用につき最大20km分の距離料金を減免

○「タイムズカー」料金表(令和7年11月30日まで)

	ベーシック	ミドル	プレミアム
時間料金※1	220円/15分	330円/15分	440円/15分
最大時間料金	6時間まで	4,290円	6,490円
	12時間まで	5,500円	7,700円
	24時間まで	6,600円	12,100円
	36時間まで	8,800円	17,600円
	48時間まで	9,900円	20,900円
	72時間まで	14,300円	27,500円
	以降1日毎※2	5,500円	6,600円
ナイトバック※3 (18:00-翌9:00)	2,640円	3,960円	5,280円
距離料金	20円/km ・時間料金※4: 6時間を超えるご利用で利用開始時からの走行距離に対して課金 ・ナイトバック: 利用開始時からの走行距離に対して課金		

※ オプションサービスをご用意しております。詳細はこちら
※1 24時間以上のご予約で、実際のご利用が2時間未満の場合は、【ミニマムチャージ】がかかります。詳細はこちら
※2 一部ステーションに限り、オプションサービスにて、最大30日間利用可能です。
※3 ナイトバックはご予約時にお選びいただけます。利用開始後に時間料金からナイトバック、またはナイトバックから時間料金へのメニューの変更はできません。
※4 2025年12月1日(月) 返却日より利用時間に関わらず、20Kmを超えた走行距離に対して距離料金が課金されます。

6. EV路上カーシェアリング社会実験での利用促進PR【撤去完了】

- EV路上カーシェアリング社会実験において、利用者の促進を図ることや「大阪・関西万博」のPRや機運醸成を目的として、社会実験で使用しているEV車両(全5台)へのミyakumiyakuのラッピングを行った。
- ラッピングは、令和6年12月16日より実施しており、令和7年10月30日に撤去が完了した。

ラッピング対象車両配置箇所



ラッピングレイアウト

国土交通省
近畿地方整備局は、
電気自動車での
EV路上カーシェアリングの
社会実験を行っています。

国土交通省
近畿地方整備局

大阪・関西万博公式キャラクター ミyakumiyaku
©Expo 2025

ラッピング車両状況

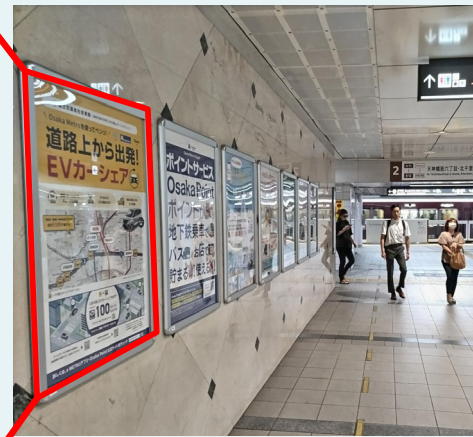





ラッピング撤去後



7. 実験参加者での利用促進取組について

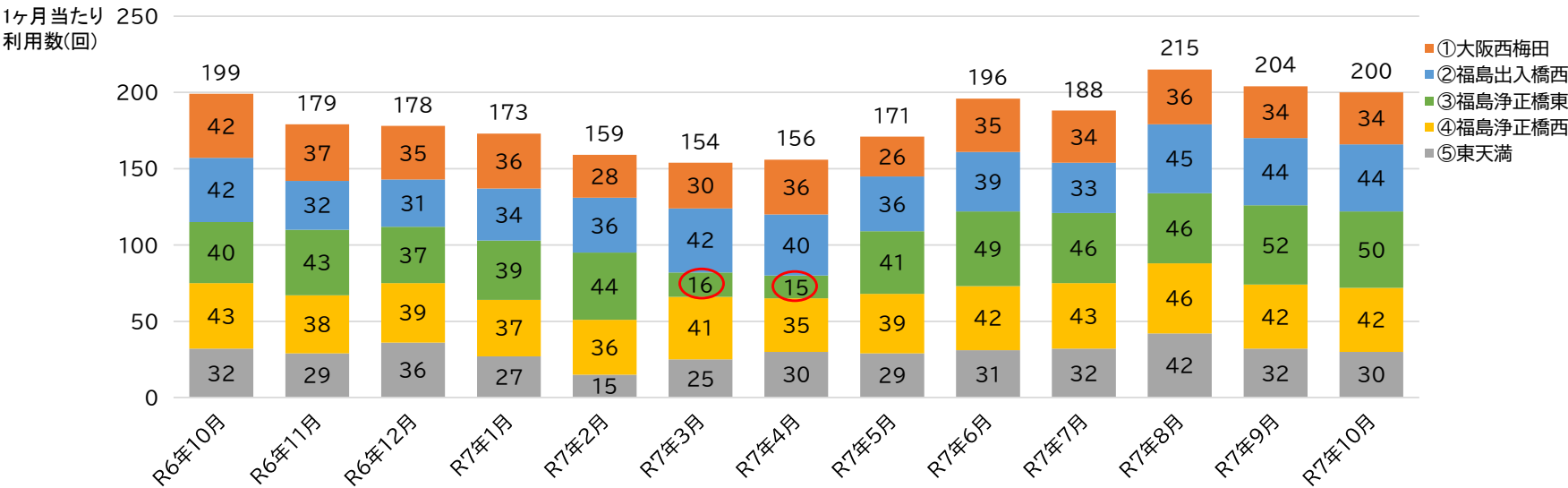
➤ 実験参加者のタイムズモビリティ(株)が、鉄道事業者と連携し、社会実験の利用を促進。

時期	内容	
令和6年10月1日 ↓ 令和6年10月31日	EV路上カーシェアリングの告知活動 (Osaka Metroの全駅・電車でポスター掲載)	<div></div> <p>駅舎内のポスター掲示状況 (南森町駅)</p> <p>ポスター</p>
①令和6年10月1日 ↓ 令和6年10月31日 ②令和7年4月1日 ↓ 令和7年12月末 (社会実験終了まで)	EV路上カーシェアリングを利用した会員に 鉄道事業者でのポイント等の特典を付与 ①Osaka Metro 取組に事前登録し、EV路上カーシェアリング利用で Osaka Point(100ポイント)を付与 ②JR西日本 JR西日本とEV路上カーシェアリングの同日利用で WESTERポイント(100ポイント)を付与	<div><p>①Osaka Metro Osaka Point</p><div><p>①取組に事前登録</p><p>②EV路上カーシェアリングを利用</p><p>③Osaka Point 付与！</p></div></div> <div><p>②JR西日本 WESTERポイント</p><div><p>①事前に TimesCARマイページへ WESTER IDを登録</p><p>②ICOCAでJR西日本路線に乗車</p><p>③同日に EV路上カーシェアリングを利用</p><p>④WESTERポイント 付与！</p></div></div>

8. 社会実験 利用実績（令和6年10月～令和7年10月）

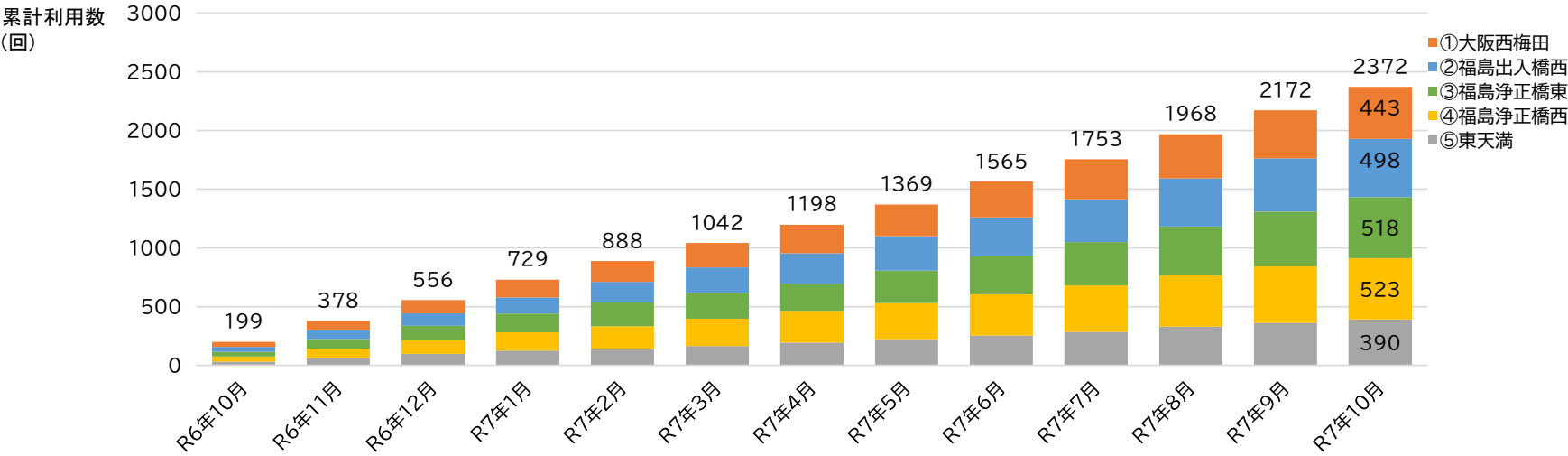
- 令和6年10月～令和7年10月での利用回数は、合計2,372回であった。
- 令和7年3月～4月は、箇所③での充電器破損の影響で、利用件数が減少した。

利用数(月別推移)



・箇所③：
R7.3.11～4.24の間、
充電器損傷により
社会実験を中断

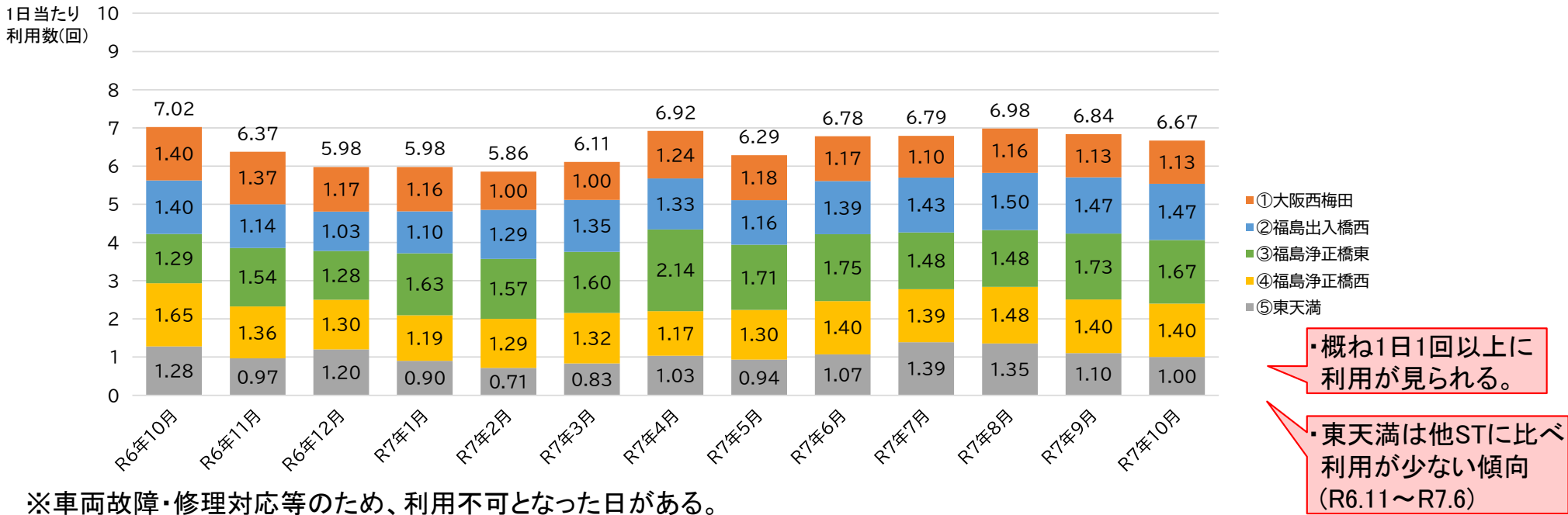
累計利用数(月別推移)



9. 社会実験 利用実績（令和6年10月～令和7年10月）

- 概ね1日あたり1回以上の利用になっている。
- 1日平均利用数は令和6年12月～令和7年2月にやや減少している（5箇所合わせた利用数が1日当たり6回を下回る）。

1日平均利用数（月別推移）



※車両故障・修理対応等のため、利用不可となった日がある。
1日平均利用者数算定に当たり、利用不可の日数は除外している。

箇所	利用不可日数(累計)
①大阪西梅田	17
②福島出入橋西	16
③福島浄正橋東	65
④福島浄正橋西	12
⑤東天満	31